

地域交流

Education
and
Communication



尾州産地研修及びオリジナルテキスタイル製織

一宮市と岐阜市の連携事業「NOBIプロジェクト」の関連事業として、一宮市内の繊維企業見学及びオリジナルテキスタイルの製織を行った。尾州産地への訪問を通して産地への理解を深めるとともに、テキスタイルの製織を通して、生産現場の職人との交流やテキスタイル製織への関心を高めることができた。

担当者：柴田 佐和子

主催者：岐阜市、一宮市

開催日：2024年4月-8月

場 所：尾州ファッションデザインセンター、
小塚毛織株式会社（一宮市） 他



産地研修（工場見学およびセミナー）

岐阜県内の染色整理工場とテキスタイルマテリアルセンターの見学およびテキスタイルデザイナーによる講義を実施した。研修を通してテキスタイルの製造工程やデザインに関する知見を得ることで、今後の学習や制作への活用を図るとともに、地元産地への理解を深めることを目的とし、デザイン環境学科ファッション領域の学生15名を対象に実施した。

担当者：柴田 佐和子/福村 愛美/太田 幸一

主催者：テキスタイルマテリアルセンター、
デザイン環境学科F D領域

開催日：2024年9月24日

場 所：①木曽川染絨株式会社
②テキスタイルマテリアルセンター



【いま、柳ヶ瀬に関わる】

受講者募集

■授業概要：集中講義1単位、選択、演習、全学科。1年生または2年生。その他はシラバス参照

■開催日程：11月23日(土) 1～5限
11月24日(日) 1～5限
11月30日(土) 1～5限

■受講方法：受講人数には上限があります(20名程度)。受講希望者は9/27(金)17:00までにTeamsチャットにて白井へ「課題創造演習受講希望」とお送りください。

■内容：岐阜市の中心市街地柳ヶ瀬の岐阜高島屋は、2024年7月31日にその47年の歴史に幕を閉じました。最終日の閉店せしめには多くのメディアが注目し、現地には最後の瞬間を見届けようとする多くの人が訪れました。

報道によると、岐阜高島屋の売り上げは1991年度には約250億円でしたが、ここ数年はピーク時の半分程度にまで落ち込んでおり、また建物の老朽化も進んでいることから閉店を決めたという事です。

さて、岐阜高島屋の閉店は、柳ヶ瀬にとってどういった意味があり、今後の柳ヶ瀬にどういった動きをもたらすのでしょうか。

しばしば、百貨店が閉店した街に「衰退」というレッテルを貼る人がいます。なぜ百貨店の閉店は街の衰退と紐づけてしまうのでしょうか。本演習では、こうした短絡的思考を問う事から始めます。そしてその上で、私たちのフィールドとしての柳ヶ瀬について創造的に考えていきます。



いま、柳ヶ瀬に関わる

課題創造演習を、3日間の集中講義形式で実施した。社会課題の説明や課題創造のための技法を講義したのち、金公園、グラスル、柳ヶ瀬商店街に移動した。商店街組合の理事長、店主をはじめ、さまざまな街のプレイヤーと話をしながら、街に潜む課題について議論した。

担当者： 白井 直之 / 鈴木 辰一

開催日： 2024年11月23日, 24日, 30日

場 所： 金公園/グラスル/柳ヶ瀬商店街



デザイン環境学科 卒業研究制作展・ファッションショー

デザイン環境学科の卒業研究制作展、及びファッションショーを「みんなの森ぎふメディアコスモス／みんなのギャラリー・みんなのホール」で行った。デザイン環境学科のファッション領域、建築・インテリア領域、ヴィジュアル・情報領域の学生48名が発表した。

table
担当者：	デザイン環境学科全員
開催日：	2024年12月21日-23日（展示） 2024年12月22日（発表会）
場 所：	みんなの森ぎふメディアコスモス みんなのギャラリー（展示） みんなのホール（発表会）



日本建築史での岐阜善光寺の見学と、赤鬼の顔描き

2024年7月25日に「日本建築史」授業にて岐阜善光寺を見学させていただいた。その際、住職から畑中に節分の鬼の顔描きを打診され、引き受けた。善光寺サポーターの方々が制作した鬼に、顔と、体の水玉を描いた。鬼は1月19日-2月4日まで建てられ、1月29日の岐阜新聞に紹介された。星祭の後お寺にてお焚き上げされた。

担当者： 畑中 久美子
主催者： 赤鬼：岐阜善光寺
開催日： 2025年1月15-16日
場所： 岐阜善光寺



黒野こども園での絵本の読み聞かせ

デザイン環境学科の演習科目「絵本・イラストレーション」にて制作された絵本の読み聞かせとワークショップを、ヴィジュアル・情報領域2年生8名が黒野こども園にて行った。その後絵本作品は園の“手作り絵本コーナー”に寄付した。また、当日の様子は岐阜新聞（2025年1月28日）に掲載された。

担当者： 金田 典子/宮川 友子
主催者： 本学・黒野こども園
開催日： 2025年1月22日
場所： 社会福祉法人教泉会黒野こども園

地域交流



高大連携事業 中国文化論カリキュラム

開催日 2024年4月-7月

担当教員 王 張璋

本学と岐阜市立岐阜商業高校との高大連携授業として、今年度は市岐商学生16名と本学国際コミュニケーション学科1年生28名（中国人留学生2名）が受講した。中国の文化や社会についてテーマを設定、調査し、グループで発表した。



土壁漆喰屋太田による土壁・光る泥団子体験

開催日 2024年6月28日

担当教員 畑中 久美子

「サステナブルデザイン」の授業で土壁について座学で学んだあと、触って体験を行う機会を一宮の太田左官の協力により、開催した。地域の土を使って光る泥団子を制作した。土の感触、磨き方によるてかりを試行錯誤しながら自分だけの光る泥団子を制作し、持ち帰った。

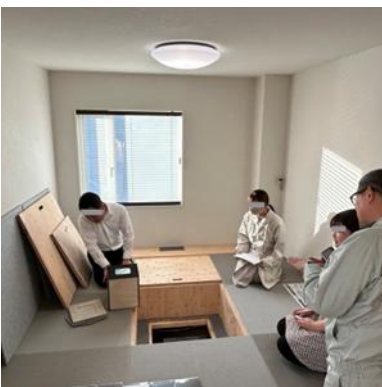


岐阜市社会福祉協議会による福祉体験

開催日 2024年7月12日

担当教員 畑中 久美子

「サステナブルデザイン」の授業で岐阜市社会福祉協議会に講師として学内で、車椅子体験と、白杖体験を行なった。本学のスロープや自販機等を乗る側、車椅子を押す側になって体験し、白杖も体験することで普段の空間を違った視点で認識し、ユニバーサルデザインへの理解を図った。



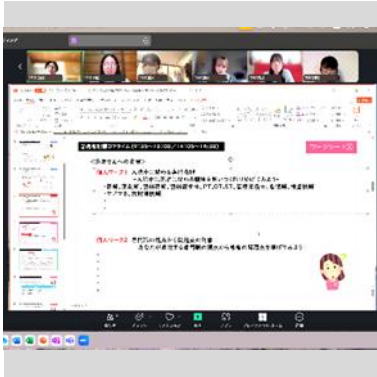
イビケン株式会社との産学連携

開催日 2024年8月1日-2025年1月20日

担当教員 臼井 直之

イビケン株式会社様から、最新の住宅設備の解説とデザインフィールドの提供をしていただき、学生からは学んでいるインテリアデザインの知識と技術を提供するという産学連携を実施した。臼井研究室の課題研究受講者が参画した。双方にとって有益であったため、次年度の実施も決まった。

地域交流



多職種メディカルケアチーム医療教育 (MMeCTE)

開催日 2024年10月21日
吉川 亮平・長屋 郁子・
担当教員 佐喜眞 未帆・黒木 由希子・
酒井 千恵

岐阜大学・岐阜薬科大学・朝日大学・朝日大学歯科衛生士専門学校・平成医療短期大学と本学との共催で『多職種メディカルケアチーム医療教育(MMeCTE)』を実施しました。医師や看護師、栄養士などの医療に関連した職業をめざす学生がグループを作り、課題症例に取り組みました。大変貴重な経験となりました。



高大連携事業 初級中国語合同発表

開催日 2024年12月2日
担当教員 王 張璋

市立岐阜商業高校との連携事業として、12月2日本学にて初級中国語合同発表を開催した。市岐商16名と本学国際コミュニケーション学科1年生16名が中国語でスピーチをした。



岐阜薬科大学「第8回英語プレゼンテーションコンテスト」への参加

開催日 2024年12月25日
担当教員 鈴木 辰一・コットン ランダル・
川合 真由美

令和6年12月25日、岐阜薬科大学三田洞キャンパスにおいて、岐阜薬科大学と共催で英語スピーチコンテストが実施された。同コンテストには本学国際コミュニケーション学科1年生の2名が参加した。



高大連携事業 中級中国語合同発表

開催日 2025年1月16日
担当教員 王 張璋

市立岐阜商業高校との連携事業として、1月16日本学にて中級中国語合同発表を開催した。市岐商17名と本学国際コミュニケーション学科2年生13名が中国語で自分の趣味や地元の文化などをスピーチした。

地域交流



熱田神宮「信長塀」の調査

開催日 2025年1月23日

担当教員 畑中 久美子

デザイン環境学科1年「課題研究」の畑中ゼミにて、熱田神宮にある信長塀の実測と3dスキャン、さらに資料館にて聞き取り調査を実施し、特徴を土積み壁の視点でまとめた。

材料学研究室 卒業研究紹介

開催日 2024年11月14日-12月4日

担当教員 太田 幸一

岐阜市立図書館分館 ファッションライブラリーにおいて、材料学研究室で実施した繊維材料関係の卒業研究についてのパネル展示を行った。

生活デザイン&ファッション講座 「パンチニードルでふわふわフレームを作ろう」

開催日 2024年11月16日

担当教員 太田 幸一

岐阜市立図書館分館 ファッションライブラリーで実施した展示と連動し、パンチニードルを使用したタフティング手法で、ふわもこ素材の作品を制作するワークショップを実施した。